
バカと漆黒の死神と召喚獣

綺羅

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

バカと漆黒の死神と召喚獣

【Nコード】

N0530R

【作者名】

綺羅

【あらすじ】

ここ文月学園に一人の

男が転入した。

その男は黒髪、紅眼の青年

彼は中学のときに家の事情で海外に行った

そして戻ってきた

彼は昔の友と会うためにここにきたのだった…

プロローグ(前書き)

初心者です。

こんな小説読んでもつまらないと

思います

どうぞよろしくお願いします m ((m

プロローグ

「やっと、着いたか…」

ここ文月学園の前に一人の男がいた

彼の名前は、夜代 楓

昔ここに住んでいたのだが

家の事情で海外に引っ越してしまった

「雄二たち、元気かな…」

彼は幼馴染たちのことを思い出しながら
文月学園に入ってしまった。

楓 s i d e

「失礼するぞ」

俺は学園長室と書かれている
部屋に入った

「ああやっと来たかい」

その部屋には、妖怪がいた…

「よう妖怪来てやったぞ」

俺は学園長もとい妖怪に言った

「で俺のクラスは？」

「相変わらず口の悪いガキだね」

余計なお世話だ

「Fクラスだよ。アンタがテスト面倒くさいってサボったからね」

Fクラスか…まあ当然だな

「でこの先生が担任の福原先生だよ」

妖怪のとなりには冴えない男性がいた

「福原 慎です。よろしくお願いします」

「よろしくお願いします」

「それじゃあ福原先生よろしくお願いします。問題起こすんじゃないよ」

「わかってるよ。妖怪」

いちいち五月蠅い妖怪だ

「それじゃあ夜代君ついてきてください」

さてどんな愉快なことが俺を待っているか…

楽しみだな…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0530r/>

バカと漆黒の死神と召喚獣

2011年2月23日01時15分発行